

関連企画

# ジゼル・ヴィエンヌ演出作品 映像上映 + トーク

## ジゼル・ヴィエンヌを知っているか？

まだなら今回の来日公演を逃す手はないはずだ。もし慎重になっているのなら、今回の上映会&トークで彼女の作品世界の一端に触れてみてはどうだろう。ここでは、彼女の作品の来歴をひと癖もふた癖もあるコラボレーターたちとの関わりから紹介していく。いかにして彼女は『腹話術師たち、口角泡を飛ばす』へと到達したのか？  
透徹した美学に裏打ちされた狂気と悪意の表象は、崇高さに向かって突き抜けていく。

### 橋本裕介 (トーク出演)

(KYOTO EXPERIMENT/ ロームシアター京都 プログラムディレクター)

京都大学在学中の1997年より演劇活動を開始、京都芸術センター事業「演劇計画」など、現代演劇、コンテンポラリーダンスの企画・制作を手がける。2010年よりKYOTO EXPERIMENT 京都国際舞台芸術祭を企画、プログラムディレクターを務める。2013年2月より舞台芸術制作者オープンネットワーク (ON-PAM) 理事長。2014年1月よりロームシアター京都勤務、プログラムディレクター。



## 4月15日 [土] 15時～

京都造形芸術大学 映像ホール (人間館地下1階)

※ 無料・要事前申込み

【紹介映像 (ダイジェストにて上映)】

『Jerk』

『I Apologize』

『KINDERTOTENLIEDER』

『A young, beautiful blonde girl』

『こうしておまえは消え去る』 ほか (予定)



『I Apologize』 Photo: Mathilde Darel



『Jerk』 Photo: Alain Monot

## ジゼル・ヴィエンヌ Gisèle Vienne



1976年生まれ。哲学科を卒業後、フランス国立高等人形劇芸術学院で学ぶ。振付家、演出家として活躍。2004年以降作家デニス・クーバーとのコラボレーションにより数多くの作品を生み出し、日本では『こうしておまえは消え去る』春秋座公演 (KYOTO EXPERIMENT 2010 京都国際舞台芸術祭公式プログラム) のほか、『Jerk』『マネキンに恋してーショールーム・ダミーズー』を上演。腹話術師やダンサー、さらにはアイススケート選手との共同製作も行う。05年以降は自身による写真やインスタレーションも発表。07年にはヴィラ九条山の招き藝術家として5ヶ月間京都に滞在。

※ジゼル・ヴィエンヌのトーク出演はございません。

<予約受付> (定員 50名)

- 予約フォーム: <https://www.quartet-online.net/ticket/gisele>
- 京都芸術劇場チケットセンター (平日 10:00-17:00)
- ・電話: 075-791-8240
- ・窓口: 京都芸術劇場チケットセンター (京都造形芸術大学内)

<アクセス>

- 京都市バス
- ・「京都駅」西条河原町より5系統岩倉行き
- ・京都市営地下鉄「北大路駅」より204系統福塚→「上野町京都造形大前」下車
- 叡山電車
- ・「茶山駅」下車、東へ徒歩10分